






第43回 桜大学講座

第1講座	<p>高遠城が改修されたのは天文16（1547）年頃、武田信玄が諏訪から伊那に抜ける伊那地方支配の拠点として、優れた築城技術をもつ山本勘助などに命令して改修されたものと言われています。以来、激しい変遷を経て今日に至っています。また、武人の鑑としてあがめられ、県歌「信濃の国」にも歌われる信玄の五男、仁科五郎盛信とはいったいどんな人物で、高遠とのかかわりはどうだったのでしょうか。さらに、保科正之公は幼少のころ、信玄の娘である見性院に育てられています。武田家と高遠。知っていそうで知らないことがたくさんあります。今回は武田研究の第一人者である平山優先生をお迎えし、「武田氏の伊那統治について」と題してご講演していただきます。</p>	期 日	令和3年4月29日	 <p>平山 優 氏</p>
		演 題	「武田氏の伊那統治について」	
		講 師	武田氏研究会副会長 平山 優 氏	
第2講座	<p>今年の高遠コヒガンザクラの開花宣言は3月26日で、満開になったのは4月1日でした。かつてない早い時期の開花となりました。地球温暖化や異常気象が叫ばれています。私たちが身近なところでも肌で感じ取ることができます。令和元年10月、台風19号が日本列島を襲い、長野県でも千曲川の堤防が決壊し、多くの被害をもたらしました。激甚災害、特定非常災害という言葉を目にするようになりました。翌年の令和2年7月には、伊那市美簗下県で三峰川の堤防がおよそ80mにわたり崩落しました。自然科学者でありながら、随筆を多く残している寺田寅彦は「天災は忘れたころにやってくる」という言葉を残しています。第2講座では、阪神・淡路大震災の際、タンスの下敷きになったことを契機に、内定先の会社を1年でやめ、東京大学大学院で防災研究に没頭された秦康範先生に、地域防災についてご講演していただきます。</p>	期 日	令和3年6月26日	 <p>秦 康範 氏</p>
		演 題	「近年の自然災害事例に学ぶ 地域防災の取り組み」	
		講 師	山梨大学准教授 秦 康範 氏	
第3講座	<p>「満州は日本の生命線」と言われ、昭和7年に満州国が誕生しました。満州移民政策は、計り知れない資源と広大で未開の原野を開拓して「王道楽土」を築き、国内の人口・経済問題を解決すると同時に、軍事的にも北の守りを固めようとする国策の一環として計画され、推進されました。しかし、昭和20年8月9日、対日宣戦布告したソ連軍が次々に満州を南下、「王道楽土・五族協和」の夢は一瞬にして消え去り、極度の混乱暗澹たる状況の中、多くの日本人が命を落としていくこととなりました。今、日本や世界の状況に目をやれば、いのちの尊さや平和に対する危機感を抱かざるを得ない出来事も少なくありません。しかし、私たちは過ぎ去りし日々思いを寄せると同時に、戦後75年を過ぎてなお、これらの事実を決して風化させることなく、真摯に学び、永久平和への努力を改めて誓います。</p>	期 日	令和3年10月23日	 <p>伊藤 純郎 氏</p>
		演 題	「満州移民と高遠町」	
		講 師	筑波大学教授 伊藤 純郎 氏	
第4講座	<p>中国湖北省武漢市で確認されて以来、瞬く間に世界中に広がった新型コロナウイルス。その猛威は今もとどまるところを知らず、新たな感染者や死者が連日報告されています。日本、そして世界各国の経済は大きな打撃を受け、マスクをつけた人々の姿は、もはや「日常」となりました。この影響を受けているのは経済だけではありません。コロナウイルスは私たちの心にも感染しているのではないのでしょうか。日本では最近、数多くの地震や台風、豪雨などの自然災害に見舞われています。私たちはそれらの災害を受けた人々に対して、ねぎらいや無事を祈りながら心を寄せることが多かったように思います。しかし、このコロナの状況はどうもそうではありません。確実に私たちの心に襲い掛かっています。人と人を遠ざけ、社会のあり様までも破壊しています。このような時、私たちはどう生きるのか。前信濃教育会会長が長年の経験から皆様方に熱く語りかけます。</p>	期 日	令和3年11月20日	 <p>後藤 正幸 氏</p>
		演 題	「コロナ禍の時こそ心豊かに生きる」	
		講 師	前信濃教育会会長 後藤 正幸 氏	

第44回 桜大学講座

第1講座	<p>中村先生には、平成14年度の桜大学において、「保科正之のひと生涯」と題してご講演をさせていただいております。大変好評であり、コロナ禍ではありますが先生に再講演をご快諾をいただきました。</p> <p>世の中はコロナ一色であり、私たちの生活も大きく変えざるを得ない日が続いています。数々の大改革を成し遂げた正之公が今の時代に生きていたならば、どのような考えをもち、どう行動していたのでしょうか。興味のあるところです。先生には正之公についてじっくりと語っていただけるものと思います。直木賞作家の先生のお話を聞くことのできる絶好の機会です。ぜひご聴講をお願いいたします。</p>	期 日	令和4年4月29日	
	演 題	「徳川の平和」を実現させた名君 保科正之		
	講 師	直木賞作家 中村 彰彦 氏		
第2講座	<p>2020年1月、中国湖北省武漢市で確認されて以来、瞬間に世界中に広がった新型コロナウイルス。その猛威は今もとどまるところを知らず、新たな株が次々と現れ、私たちの周りでも感染者が連日報告されています。3年目になり、医療現場で働く皆さんの苦労は計り知れないものがあると思います。感染者が出始めたころ、親が医療従事者であったため、いじめを受けた小学生がいたという悲しい話も聞きました。</p> <p>今回の桜大学では、コロナ対応の医療現場のすがた、また伊那中央病院が誇る日本の最新医療等について、同院長の本郷一博先生が講演していただきます。めったに聞くことのできないお話です。多くの皆様のご聴講をお待ちしております。</p>	期 日	令和4年6月25日	
	演 題	「新型コロナウイルス感染症と伊那中央病院における最新医療あれこれ」		
	講 師	伊那中央病院 院長 本郷 一博		
第3講座	<p>東京2020パラリンピックは、1年延期された2021年8月24日に開幕を迎えました。数々のドラマを生み出してきた「日本史上最強」の車いすバスケットボール男子日本代表チームは、決勝戦でアメリカチームに惜しくも敗れるものの、見事銀メダルを獲得しました。世界一を争う決勝戦まで勝ち上がったことは大変な躍進です。また、車いすを激しくぶつけ合いながら攻防する様子は、車いすバスケットボールならではの面白さであり、障害を抱える皆さんの努力も含め、私たちの想像を絶するものがあると思います。今回は、銀メダル獲得に貢献した長野市出身・藤澤潔さんを講師としてお招きすることができました。藤澤さんの歩みや、車いすバスケットボールにかける思いの中から、私たち自身の生き様について考える機会にいただければ幸いです。</p>	期 日	令和4年10月22日	
	演 題	「パラリンピックへの挑戦～銀メダル獲得までの道のり～」		
	講 師	東京2020パラリンピック 銀メダリスト 藤澤 潔 氏		
第4講座	<p>方言は、私たちの生活と密接に結びついています。普段の生活の中で、方言でなければ言い表せないような状況が多々あったり、自分では意識していなくても方言を使ったりしている時があります。方言を使うことに気が引ける方がいるかもしれませんが、これからも大切にしていきたい一つの言語文化ではないでしょうか。</p> <p>昭和年代にテレビの普及により標準語が浸透し、また生活様式の変化により、多くの方言が失われました。今回の桜大学では、方言研究の第一人者である、伊那西高校の出野憲司校長先生が、方言と暮らしに視点を当て、ご講演していただきます。なつかしい方言が出てくるかもしれません。多くの皆様のご聴講をお願いいたします。</p>	期 日	令和4年11月26日	
	演 題	「暮らしに生きる方言 ～上伊那の方言を中心に～」		
	講 師	伊那西高等学校 校長 出野 憲司		

第45回 桜大学講座

第1講座	幕末最後まで徳川將軍家への忠誠を誓い義を貫き戊辰戦争を戦った会津藩。その独特の藩風を形作ったのが初代藩主、保科正之公。正之の後裔である松平保久氏が高遠と会津の縁を探る。会津松平家14代当主。1954年東京都生まれ。学習院大学法学部を卒業後、NHKに入局。NHK退職後は(株)東洋ワーク名誉会長、ボナリ高原ゴルフクラブ理事長、NHKエンタープライズフリープロデューサーなどを務める。2011年8月に父・保定の跡を継いで14代当主に。幕末最期の会津藩主、松平容保の曾孫にあたる。歴史講演会、シンポジウムなどで会津藩の歴史、幕末史などを伝えている。座右の銘は「愚直」	期日	令和5年4月29日	
		演題	高遠が培った会津の義	
		講師	会津松平家14代当主 松平 保久	
第2講座	平昌五輪金メダリスト小平奈緒氏をお招きし、講演「人とつながる」を開催します。講師のは小平奈緒氏は、茅野市出身。伊那西高校、信州大学教育学部卒。2014-2016に2年間練習拠点をオランダに移して研鑽を積み、帰国後のシーズンから国内外の500mで2年半負けなしの37連勝を記録(ワールドカップは20連勝)。その間、平昌オリンピックでのスピードスケート日本女子初の金メダル、世界スプリント総合優勝2回などに輝いた。2022年10月競技生活のラストレースとなった全日本距離別選手権女子500mを8連覇13回目の優勝で有終の美を飾った。11月より信州大学の特任教授に就任。現在は、講演やイベントに充実した毎日を送っている。	期日	令和5年6月10日	
		演題	人とつながる	
		講師	平昌五輪 スピードスケート女子金メダリスト 小平 奈緒	
第3講座	教科書も教育法も無かった時代、その両方をゼロからイチにした伊澤修二がなにを原動力にしていたのか。塚田館長が語ります。講師は塚田博之(つかだひろゆき)氏。1961(昭和36)年1月31日、長野市の生まれ。大学では近現代史を学び、上伊那を中心に中学校などで社会科教師を務め、2020年度、伊那市立富県小学校を最後に退職。在職中は上伊那教育会郷土研究部で伊澤修二資料の整理と研究を継続した。退職後は上伊那教育会郷土研究部専門幹事を経て、今年4月から伊那市立高遠町歴史博物館館長を務める。	期日	令和5年10月14日	
		演題	伊澤修二はなぜ日本に西洋音楽を取り入れたのか	
		講師	高遠町歴史博物館 館長 塚田 博之	
第4講座	満州へ行けば20ヘクタールもの農地の地主になれる、国からも補助金が出る・・・このような宣伝がされ、満蒙開拓は行われました。全国から27万人、なかでも信州からは3万3千人もの人々が開拓のため満州へ移住しました。歴史を学び、これからを生きる道しるべにしましょう。講師は三沢亜紀氏、1967年生まれ、広島県出身。1994年飯田市へ移住。15年間ケーブルテレビ局に勤務し番組制作に携わる。2009年12月より満蒙開拓平和記念館の開館に向けた記念館事業準備会事務局員。現在は満蒙開拓平和記念館(阿智村)事務局長。	期日	令和5年11月18日	
		演題	『満蒙開拓』という歴史が語りかけてくるもの	
		講師	満蒙開拓平和記念館 事務局長 三沢 亜紀	

第46回 桜大学講座

第1講座	<p>徳川家康の孫・保科正之は、21歳で高遠藩主になり3代将軍家光を補佐、4代将軍家綱を養育しました。本講座では、福島県・猪苗代の地にある土津神社氏子会会長の安藤孝一氏をお招きし、会津松平家初代藩主・保科正之公が祀られている土津神社がどのように創建されたのかについてご講義いただきました。</p> <p>【講師プロフィール】 昭和29年生まれ 昭和48年に猪苗代高等学校農業科を卒業。 昭和53年埼玉県朝霞市役所入庁。 平成6年氏子会青年部、平成10年氏子会役員、平成28年事務局長および会長代行を務める。 平成30年から現職・土津神社氏子会会長。 令和4年総務省行政相談員。</p>	期 日	令和6年4月29日	
		演 題	磐梯山麓の地に祀られる正之公	
		講 師	土津神社氏子会 会長 安藤 孝一	
第2講座	<p>【講師プロフィール】 1954年東京西日暮里生まれ。 1972年片岡鶴八師匠に弟子入り。3年後、東宝名人会、浅草演芸場に出演。 その後、バラエティー番組を足掛かりに広く大衆の人気者となる。 目下は幅広いキャラクターを演じられる役者として、ドラマ、映画、演劇に活躍中で日本アカデミー賞最優秀助演男優賞をはじめとし、数多くの賞を受賞。 また芸術家としての一面も持ち、画家としては、1995年に東京にて初の絵画展「とんぼのように」を開催。 2001年には、初の海外個展をパリにて開催、好評を博す。 2015年、書の芥川賞と言われる「第十回手島右卿賞」を受賞。 2023年、銀座もとじさんとのコラボレーション展覧会『片岡鶴太郎男の粋を描く』。 2012年、伊那市芸術文化大使を委嘱される。 2012年に始めたヨガ。2017年には、インド政府公認プロフェッショナルヨガ検定に合格。インド政府よりヨガマスターの称号を授与され、第1回ヨガ親善大使に任命される。 芸人にとどまらず、俳優、画家、プロボクサー、ヨーギーと多方面で活躍中。</p>	期 日	令和6年6月1日	
		演 題	高遠とわが人生	
		講 師	俳優・画家・プロボクサー・ヨーギー 片岡 鶴太郎	
第3講座	<p>高遠町出身の小説家・島村利正の作品とその世界観について、研究の第一人者である六川宗弘氏に語っていただきました。</p> <p>【講師プロフィール】 1962年、長野市に生まれる。 国語科教諭として県内の高校に勤務。島村利正研究の第一人者で、研究論文は「『いのちの石』にあたる音～素描・島村利正」、「島村利正と故郷、高遠」など多数。 「長野日報」紙に連載した「風景の記憶」をまとめた『島村利正作品とその世界』を自費出版し、現在も「島村利正作品の世界」を「日報」紙に引き続き連載中。</p>	期 日	令和6年11月30日	
		演 題	島村利正作品とその世界	
		講 師	長野吉田高校教諭 六川 宗弘	

第47回 桜大学講座

第1講座	<p>令和7年度最初の高遠町桜大学は、福島県立博物館副館長 高橋充氏をお招きし、高遠と会津の縁を歴史から紐解くご講演をいただきました。</p> <p>【講師プロフィール】 1965年、千葉県生まれ。 東北大学文学部卒業。同大学院文学研究科（修士課程修了）。 1994年から福島県立博物館に学芸員として勤務。 専門は日本史（中世）。</p>	期 日	令和7年4月29日	
		演 題	信州高遠と奥州会津一武田・蘆名から保科正之まで一	
		講 師	福島県立博物館副館長 高橋 充	
第2講座	<p>第2講座は、映画監督 池谷薫氏をお招きし、自身の監督作品「先祖になる」の上映会とトークをしていただきました。</p> <p>【講師プロフィール】 1958年、東京生まれ。 同志社大学卒業後、12本のNHKスペシャルを含む数多くのテレビ・ドキュメンタリーを演出する。劇場デビュー作となった『延安の娘』（02年）は、文化大革命に翻弄された父娘の再会を描き、カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭最優秀ドキュメンタリー映画賞ほか多数受賞。2作目の『蟻の兵隊』（06年）は、「日本軍山西省残留問題」の真相に迫り、記録的なロングランヒットとなる。3作目の『先祖になる』は、東日本大震災で息子を亡くした木こりの老人が自宅を再建するまでを追い、ベルリン国際映画祭エキュメニカル賞特別賞、文化庁映画賞大賞を受賞。4作目の『ルンタ』（15年）は、非暴力の闘いに込められたチベット人の心を描く。2008年から13年まで立教大学映像身体学科の特任教授を勤め、卒業制作としてプロデュースした『ちづる』は、全国規模の劇場公開を果たす。</p>	期 日	令和7年6月21日	
		演 題	映画『先祖になる』上映会&トーク	
		講 師	映画監督・甲南女子大学教授 池谷 薫	
第3講座	<p>第3講座は、農学博士 井上直人氏をお招きし、「ソバ」にまつわる興味深い内容をご講話いただきました。</p> <p>【講師プロフィール】 1953年、東京都生まれ。 1974年、信州大学氏原研究室でのソバ研究を皮切りに、1991年から京都大学農学部講師、助教授を経て、2002年に信州大学教授となる。また、金沢、岐阜、九州、岡山大学大学院の非常勤講師を勤めた。ソバや雑穀などの生理生態、食品科学、育種、土壌学の研究が専門。また、日本雑穀協会を立ち上げ、加工、栄養、機能、健康、美容などについての市民教育を行ってきた。 現在、どうぶきそば「無製粉冷水浸漬そば製法」の開発研究や、地元企業の顧問を務める。最近は、「伊那のそば在来品種の復興と生産による地域振興（農水大臣賞）」のデータ収集や、「そば風味評価装置の開発（特許）」や、「地力の即時分析技術の開発（国際特許）」を行っている。</p>	期 日	令和7年10月14日	
		演 題	武田忍者兵糧丸とそばの関係とは？	
		講 師	農学博士 井上 直人	
第4講座	<p>第4講座は、論語講師 安岡定子氏をお招きし、古典の英知を「今」に生かせる内容をご講話いただきました。古くから高遠の地で教育目標として仰がれてきた伊澤修二の言葉「學則得」の心をやさしく読み解きます。</p> <p>【講師プロフィール】 1960年、東京都生まれ。 二松学舎大学文学部中国文学科卒業。 漢学者・安岡正篤の孫。現在、こども論語塾の講師として全国各地で講座を開催するほか、企業やビジネスマン向けセミナー、講演活動を行っている。『子や孫に読み聞かせたい論語』（幻冬舎）、『新版 素顔の安岡正篤』（PHP研究所）、『仕事と人生に効く 成果を出す人の実践論語塾』（ポプラ社）、『洪沢栄一と安岡正篤で読み解く論語』（プレジデント社）など、著書多数。安岡定子事務所代表。公益財団法人郷学研究所・安岡正篤記念館理事長。</p>	期 日	令和7年11月29日	
		演 題	論語を通して学ぶ喜びを知る一學則得の心を読む一	
		講 師	漢学者・論語塾講師 安岡 定子	